

# Town Hospital News BIEI

美瑛町立病院 新聞

こんにちは！町立病院です。みなさんに、もっと身近に感じてほしくて、医療情報や院内情報を書いた情報誌を始めました。気軽に手に取って読んでみてください！！これからもよろしくお祈いします。



まだ雪の残る、春晴れの美瑛町立病院

## 4月から美瑛町立病院は 新しく生まれ変わります

—— 98床から48床へ。  
それは、一人ひとりに寄り添うための「進化」です。

いつも美瑛町立病院をご利用いただき、ありがとうございます。この春、当院は大きな転換期を迎えました。4月1日より病床数を48床へと再編し、新たに「地域包括ケア病床」を中心とした体制へと移行いたします。

「病床が減って大丈夫なの？」と不安に思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、今回の再編は単なる規模の縮小ではありません。今の時代、そしてこれからの美瑛町に求められる医療を考え抜いた末の、**前向きな再出発**です。

**なぜ、今変わるのでしょうか？**

これまでの「病気を治す場所」という役割に加え、これからは「治した後の暮らしを支える場所」としての役割がますます重要になります。新しく導入する「地域包括ケア病床」は、急性期の治療を終えた患者さまが、安心してご自宅や介護施設へ戻れるよう、リハビリや退院支援をこれまで以上に手厚く行うための仕組みです。

**「もっと近く、もっと頼れる」病院へ**

病床数はコンパクトになりますが、その分、スタッフ一人ひとりが患者さまやご家族の声に耳を傾け、密度の濃いケアを提供できる体制を整えました。

- 「住み慣れたこの町で、ずっと自分らしく暮らしたい」
- 「退院後の生活が不安だけど、相談できる場所がほしい」

そんな皆さまの願いを支える「地域の拠点」として、私たちは新たな一歩を踏み出します。体制は変わっても、町民の皆さまの健康を守るという私たちの使命に変わりはありません。新しくなった美瑛町立病院を、これからもどうぞよろしくお祈いいたします。

院長挨拶：

### 美瑛の未来を、共につくる

美瑛町立病院 院長 村住 和彦

美瑛町にお住いの皆さま、日頃より当院をご信頼いただき、心より感謝申し上げます。

先ほどのご案内にありました通り、この春、当院は48床という新しい姿でリスタートいたしました。病院の規模が変わることに驚かれた方もいらっしゃると思いますが、私たちが目指すのは「ベッドの数」ではなく「ケアの質」で地域一番の安心をお届けすることです。

医療の役割は、病気を治すことだけではありません。退院したその先に、皆さまが美瑛の美しい景色の中で、自分らしく笑って暮らせる日々があってこそ、私たちの仕事は完結します。

新体制では、医師、看護師、リハビリスタッフ、そして相談員がこれまで以上に密に連携し、一人の患者さまを「チーム」で支えてまいります。

「困ったときは、まず町立病院へ」

そう言っていただけるよう、新しくなった病院とともに、私たち職員もまた、皆さまの声に真摯に耳を傾け、成長し続けていく所存です。

新しく生まれ変わった美瑛町立病院を、どうぞ温かく見守ってください。





## 防火意識を高める。春季消防訓練を実施しました

3月27日、当院において火災発生を想定した消防訓練を実施しました。今回の訓練は、火元は入院病棟で消火器では消火できない規模の火災を想定し、いかに迅速かつ安全に避難誘導を行えるか、全スタッフが緊張感を持って取り組みました。

- **迅速な通報と初期消火**：火災発見から消防署への通報、消火器・消火栓の使用手順を再確認しました。
- **安全な避難誘導**：車椅子を利用されている方や、歩行に介助が必要な方の安全を第一に考えた誘導ルートの点検を行いました。
- **スタッフの役割分担**：各部署の連携を密にし、混乱なく指示を伝達する訓練を重ねました。

訓練後には反省会を行い、改善点や課題を共有しました。

病院は、多くの皆さまが安心して過ごせる場所でありたいです。万が一の事態に備え、これからも日頃からの訓練を積み重ね、安全な医療環境の維持に努めてまいります。

## 花粉症の季節到来！！

### 今年が多い？ 早期予防で発症抑制！！

春を快適に過ごすために。花粉症は「早めの治療」が肝心です

「まだ雪が残っているから大丈夫」と思っていますか？ 北海道のシラカバ花粉などは、私たちが感じているよりもずっと早くから準備を始めています。本格的な飛散が始まってから薬を飲むよりも、**症状が出る前、あるいは出始めた直後**に対策を講じる「初期療法」が非常に効果的です。



なぜ「早め」がいいの？

花粉症の症状が悪化してからでは、鼻の粘膜が腫れ上がり、薬が浸透しにくくなってしまいます。早めに治療を開始することで、以下のようなメリットがあります。

- **症状を軽く抑えられる**：ピーク時の鼻水・目のかゆみが軽減されます。
- **飛散期間を楽に過ごせる**：症状が出る期間を短縮できる可能性があります。
- **強い薬を減らせる**：眠気などの副作用が強い薬を使わずに済むこともあります。

ぜひ、早めの対策を

## ご家族の「ちょっと一休み」を応援します。

～レスパイト入院のご案内～

毎日介護を頑張っているご家族の皆さま、「少し体調を崩してしまった」「冠婚葬祭で家を空けることになった」といったことはありませんか？ 当院では、介護者の皆さまの休息を目的とした短期間の入院相談を承ります。住み慣れた町で安心して介護を続けられるよう、病院としてサポートいたします。

受入れ開始は、7月からとなります。気になる方は、当院「地域医療連携室」にご連絡ください。

## ワクチンニュース

### 4月から高齢者肺炎球菌ワクチンが変わります！！

これまで定期接種（公費助成）で使用されていたワクチンが、2026年4月1日から、より予防効果の持続が期待できる新しいワクチンに変更されます。

#### 1. 何が変わるの？

- **使用する薬剤**：「ニューモバックス NP（23価）」から、新しく「プレバナー20（20価）」に変わります。
- **回数**：新しいワクチンは免疫が長続きするため、原則として「一生に1回」の接種で完了します（これまでの5年ごとの打ち直しが不要になります）。

#### 2. 対象となる方

- **65歳の方**（66歳の誕生日の前日まで）

肺炎は、さまざまな疾病の中でも、常に死亡率上位にあります！

予防により、リスクを軽減し、充実した生活を送りましょう！！

※対象年齢以外の方も、自費での接種可能です。

## 職業紹介！～病院では、どんな人が働いているの？～

### 今回のピックアップは、薬剤師です！！



薬剤師 大場 寛久

1児のパパ、最近子供に翻弄されて家庭も仕事も一大事！！子供が大きくなったら趣味のスキーと一緒にやりたいとのことだが、今年初挑戦の子供は2m滑ってギブアップ、、、一緒に滑れる日はいつのことやら、、、(笑)

### お薬のプロ、薬剤師。実はこんなところでも活躍しています！

#### 1. 処方箋のチェック（監査）

「お医者さんが出したお薬の量や、飲み合わせに間違いがないか、ダブルチェックで確認しています。あなたの体質やアレルギーに合うかどうか、大切な確認事項です。」

#### 2. 病棟での服薬指導

「入院中の患者さんのベッドサイドへ伺い、お薬の効果や注意点を直接お伝えします。不安なことや飲み込みにくさなど、現場の声を拾って医師と相談し、最適な形に調整するのも私たちの役目です。」

#### 3. お薬の準備（調剤・製剤）

「飲み薬だけでなく、点滴の準備も行います。特に高カロリー輸液などは、専用の設備を使って、極めて清潔に安全な環境で準備しています。」

#### 4. チーム医療の要

「医師や看護師、栄養士などと協力して、患者さんに最適な治療方針を話し合います。薬の専門家として、副作用の防止や効果の最大化をアドバイスしています。」

### お薬相談、お気軽に！

お薬のことで困ったら、窓口や病棟でいつでも声をかけてください。すぐにとんでいきます！！